

## 施工説明書

品番：NQ23151、NQ23112、NQ23111、NK23010

本器の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず専門業者の方が施工してください。

工事店様へ 正しく施工するために必ずお読みください。  
施工後、必ずお客様に商品説明をしていただき、本書と取扱説明書をお渡しください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

### 警告

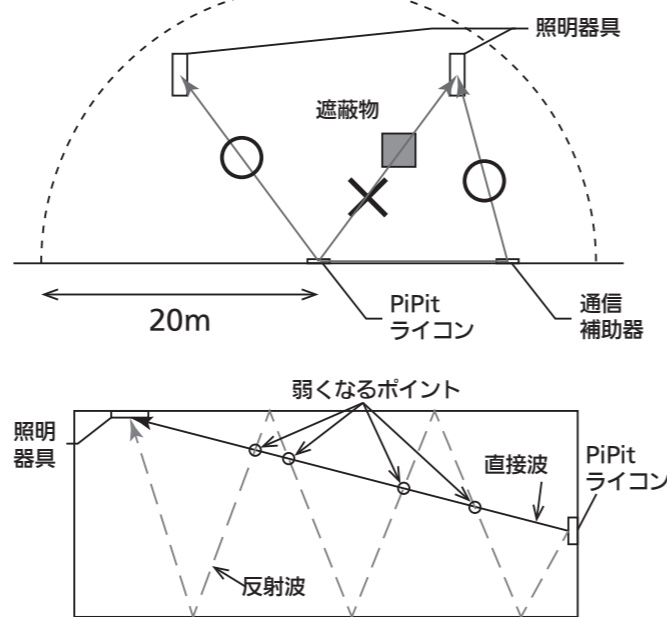
- 本器の分解や改造および修理はしない。
  - 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。
  - 施工は施工説明書にしたがい確実にこなす。
- 以上を守らないと火災や感電、落下の原因となります。

## 施工上のご注意

- 本器は壁付け専用です。必ず壁に固定してご使用ください。
- 使用されるPiPitライコンに適合したリモコン（PiPitハンディライコン、PiPit+ハンディライコン）は設定操作に必要ですので必ずご購入ください。
- 異常な動作をした場合などにすぐに電源を遮断できるように照明器具の電源には別途スイッチを設けてください。
- 石膏ボードへの取付は脱落を防止するため、必ずはさみ金具（別途）を使用してください。

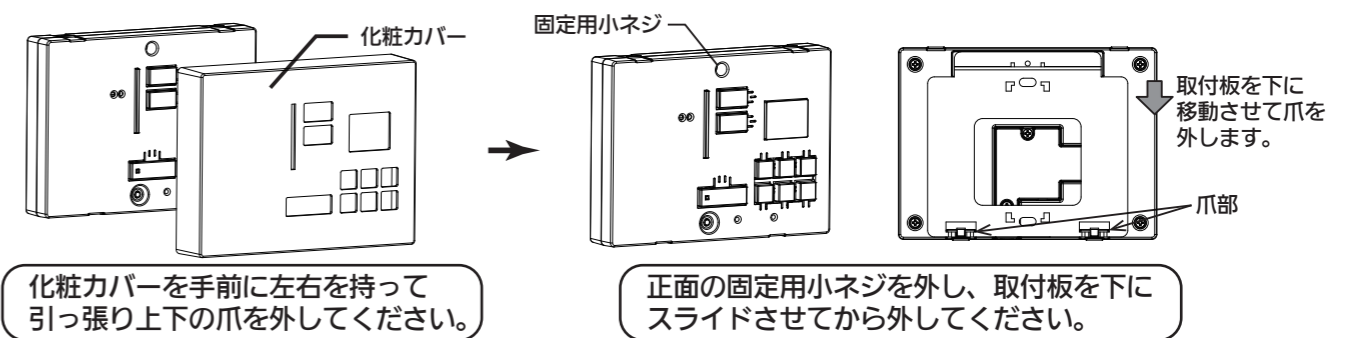
## 設置場所について

- 照明器具はPiPitライコンから見通し※距離20m以内に設置してください。  
※見通しとは、PiPitライコンから照明器具が直視できる状態です。
- 壁や柱などの遮蔽物で照明器具を直視できない場合は通信補助器（別途）を設置してください。  
通信補助器は通信距離範囲内で各種コントローラと照明器具が見通せる位置に設置してください。
- 照明器具と本器は50cm以上離してご使用ください。  
近すぎると動作しない場合があります。
- 内装変更で遮蔽物が介在するなど通信環境が変化すると正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。
- 通信距離範囲内でも電波が弱くなる場所がありますのでご注意ください。
- 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。
  - ・ 本器と照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
  - ・ 本器と照明器具間のある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
  - ・ 本器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
  - ・ 金属物の壁面に本器を取り付けている。
  - ・ 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
  - ・ 本器または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
  - ・ 本器または照明器具の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
  - ・ 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。



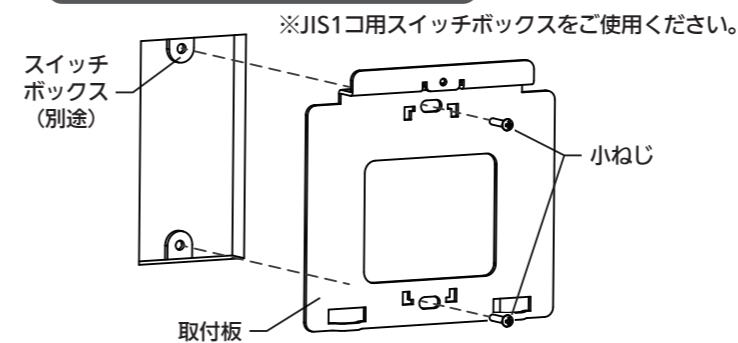
## 施工方法

### 1 化粧カバーと取付板を取外す

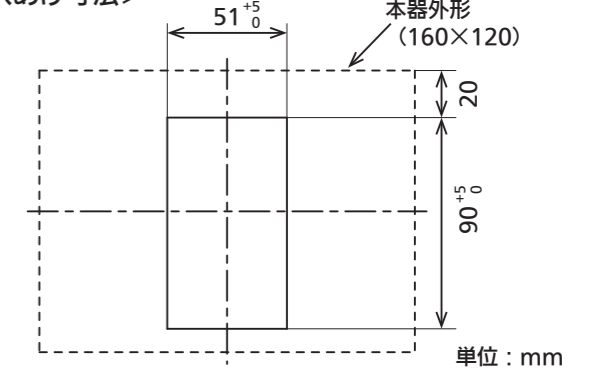


### 2 取付板を固定する

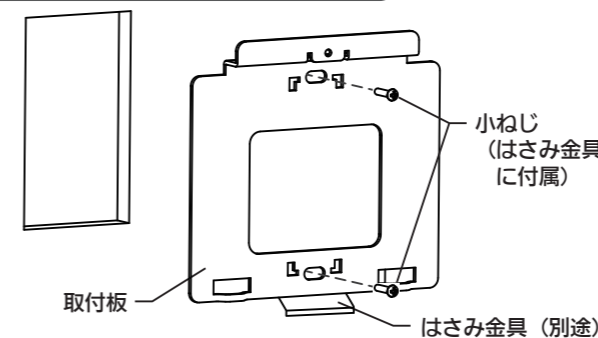
#### ボックス取付の場合



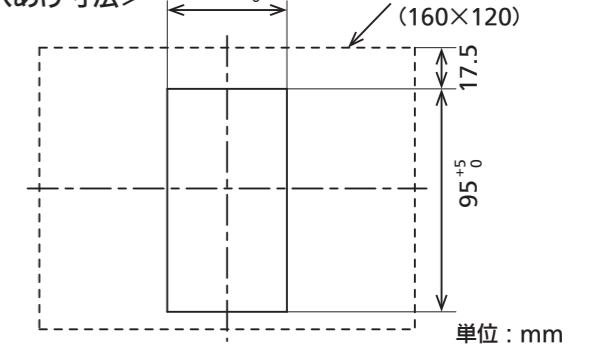
#### <壁の穴あけ寸法>



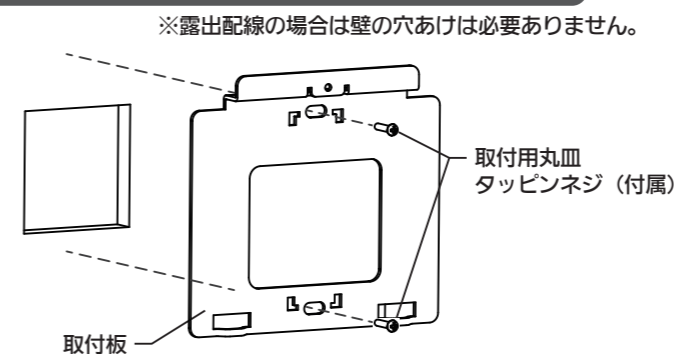
#### はさみ金具取付の場合



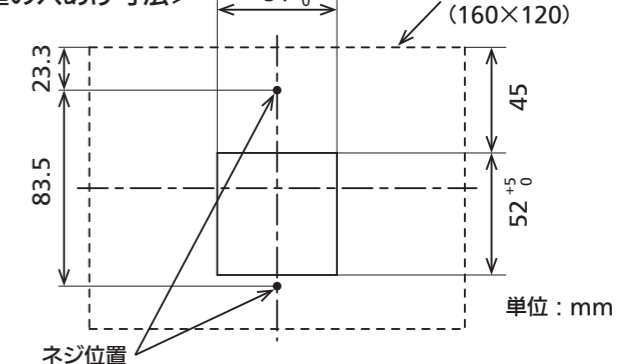
#### <壁の穴あけ寸法>



#### 取付用丸皿タッピンネジ取付の場合



#### <壁の穴あけ寸法>

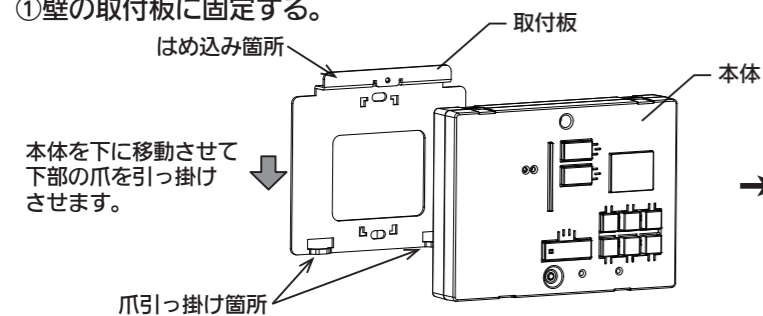


### 3 本器の取付と配線をする

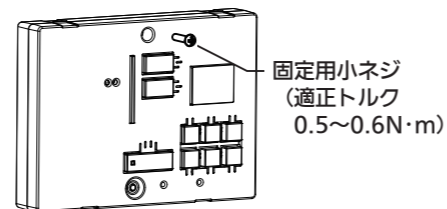
#### 露出配線の場合 (NQ23112、NQ23111、NK23010の場合のみ)

※NQ23151は露出配線でできません。

##### ①壁の取付板に固定する。



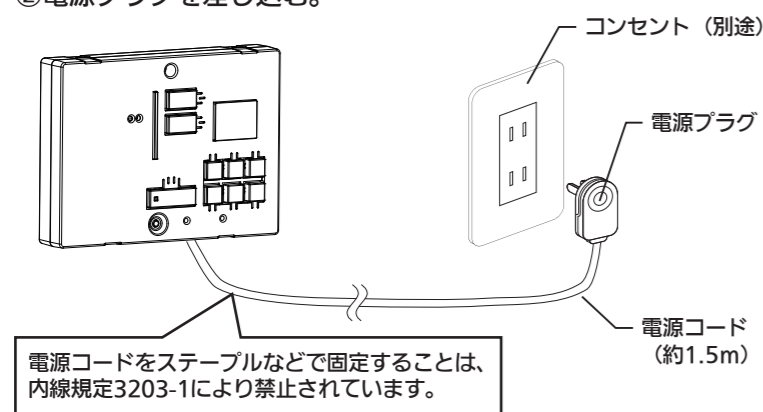
本体背面の凹部に取付板の上部をはめ込み下に移動させて下部の爪を取付板に引っ掛けてください。



※固定用小ネジを紛失した場合は付属の固定用小ネジをご使用ください。

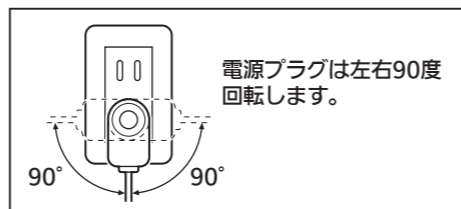
正面から固定用小ネジで取付板と固定します。(1度外したものを再度ご使用ください。)

##### ②電源プラグを差し込む。



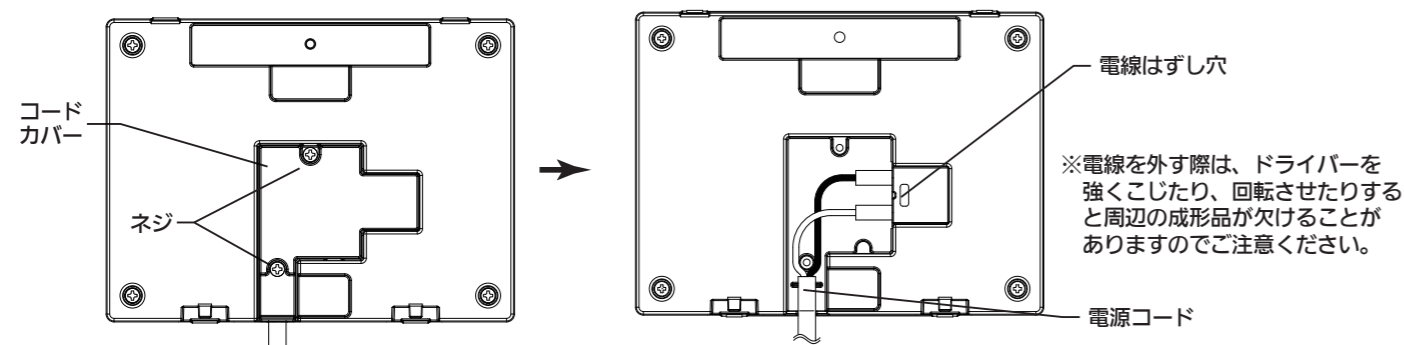
#### 電源プラグの使用上のご注意

- 可動範囲を超えて無理に回転させない。故障の原因となることがあります。
- 抜け止め仕様のコンセントおよびテーブルタップなどには差し込まない。取り外せなくなる場合があります。



#### 壁内配線の場合

##### ①電源コードを取外す。(NQ23112、NQ23111、NK23010の場合のみ)



ネジ2箇所を外し、コードカバーを外してください。

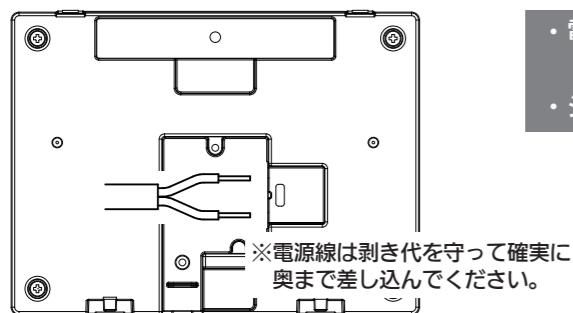
電線はずし穴に電工ドライバー (中または小) を差し込み電線を引き抜いてください。



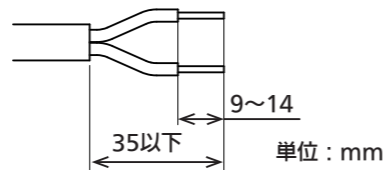
**警告**

●取外したコードカバーと電源コードは再利用しない。火災や感電の原因となります。

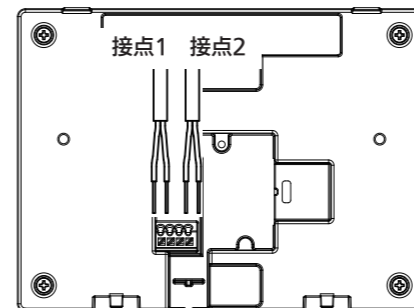
##### ②壁からの電源線を電源端子台に接続する。



- ・電源線はφ1.6またはφ2.0銅単線を使用してください。(剥き代9~14mm)
- ・シースの剥き代は35mm以下にしてください。



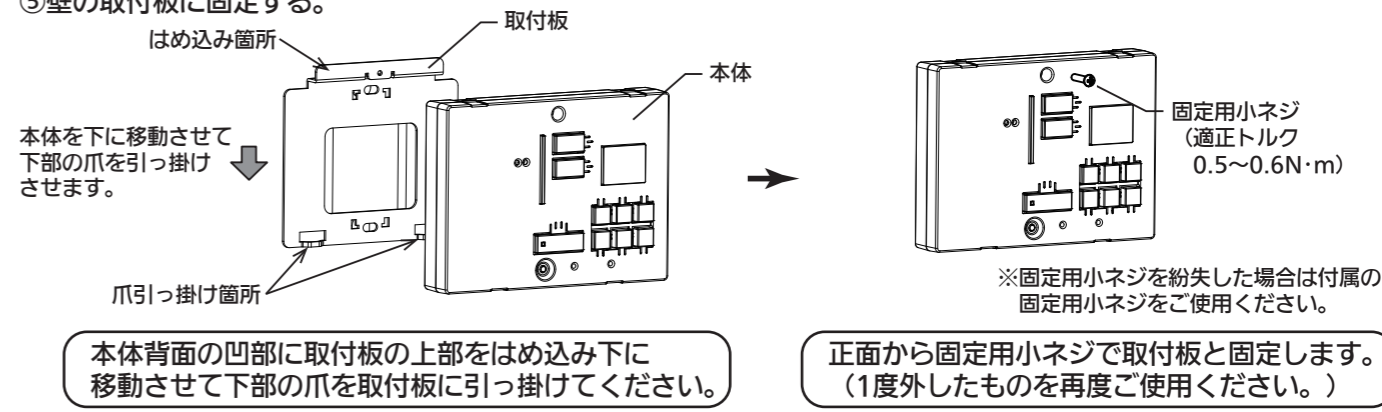
##### ④壁からの接点用配線を接点用端子台に接続する。(NQ23151の場合のみ)



- ・接点用配線はφ0.9またはφ1.2銅単線を使用してください。(剥き代7~9mm)
  - ・電源線と接点用配線は接触しないように施工してください。
  - ・スイッチボックス使用時には、内線規定3102-7により電源線と接点用配線の間にはボックス用絶縁セパレータ (WV2450) など堅ろうな障壁を取り付けて絶縁してください。
  - ・接点は複数のコントローラで共用しないでください。(一括する場合はリレー回路などを設けてください。)
- また、一括操作すると無線通信が混信し、動作が大きく遅れる可能性がありますのでON操作に時差を設けることをお勧めします。

接点ON時の初期設定は下記の通りです。  
変更する場合は同梱の取扱説明書にしたがって設定してください。  
接点1 - 50%削減  
接点2 - 70%削減

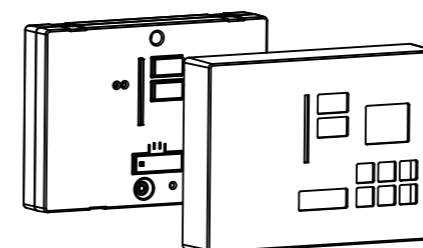
##### ⑤壁の取付板に固定する。



本体背面の凹部に取付板の上部をはめ込み下に移動させて下部の爪を取付板に引っ掛けてください。

正面から固定用小ネジで取付板と固定します。(1度外したものを再度ご使用ください。)

### 4 化粧カバーを取付ける



化粧カバーの上下の爪が吻合するまで正面から押し込んでください。



本器を使用するには設定が必要です。施工後は同梱の取扱説明書にしたがって、必ず設定を実施してください。